



UNF/LO
アンフィーロ

2026年2月期（2025年度）
第3四半期
決算説明資料

2026年1月8日
ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

MISSION STATEMENT

オンワードグループのミッションステートメント

ホ シ

ヒトと地球に 潤いと彩りを

「社員の多様な個性をいかしたお客さま中心の経営」により

地球と共生する「潤いと彩り」のある生活づくりに貢献する

『生活文化創造企業』

として前に進み続ける



01	連結実績および連結業績予想ハイライト	P4
02	2025年度 第3四半期累計 連結実績	P7
03	2025年度 通期 連結業績予想	P12
04	「ONWARD VISION 2030」進捗状況	P15
05	Appendix	P20



01

連結実績および連結業績予想
ハイライト

売上高

1,747 億円

前年同期比 +16.5%
+248億円

営業利益

95 億円

前年同期比 +11.3%
+10億円

当期純利益

76 億円

前年同期比 +32.1%
+19億円

EBITDA※

136 億円

前年同期比 +10.2%
+13億円

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費等

- 第3四半期累計の売上高は、前年同期比で16.5%増収の1,747億円となった。特にオンワード樫山やオンワードパースナルスタイルの冬物衣料の販売が好調に推移し、増収に貢献した。
- ブランド別の売上高は、『アンフィーロ』（+41.6%増収）、『カシヤマ』（+29.1%増収）、『チャコット・コスメティクス』（+28.0%増収）等の戦略強化ブランドが好調だった。『23区』（+4.3%増収）等の基幹ブランドも堅調に推移した。
- 販路別の売上高は、百貨店が1%の微減収となったが、ショッピングセンター等が37%、ECが17%の大幅増収となった。
- 営業利益は11.3%増益の95億円となった。広告宣伝費等の販管費の効率化が奏功し、販管費率を0.1%上昇の50.0%に抑えた。売上総利益率は、在庫管理の徹底等により55.5%を確保した。
- 当期純利益は32.1%増益の76億円で着地した。事業構造改革が一段落したこと等から特別損失の計上額が縮小した。また政策保有株式の縮減等に伴う特別利益の計上も寄与した。EBITDAは10.2%増の136億円となった。
- 以上の結果、増収および全段階利益での増益を達成した。

売上高

2,300 億円

前期比 +10.4%
+216億円

営業利益

115 億円

前期比 +13.3%
+13億円

当期純利益

100 億円

前期比 +17.4%
+15億円

EBITDA※

170 億円

前期比 +10.0%
+15億円

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費等

- 引き続き、不透明な経営環境に対応した柔軟な事業運営を継続し、販管費の効率化を一層徹底すること等により、通期の売上高は前期比10.4%増収の2,300億円、営業利益は13.3%増益の115億円、当期純利益は17.4%増益の100億円、EBITDAは10.0%増の170億円を予想する。（期初の業績予想を据え置く。）
- 1株当たり配当金については、期末配当として16円、既に実施済みの中間配当と合わせて30円（前期から4円増配）という期初の予想を維持する。



SCEARN

02

2025年度 第3四半期累計
連結実績

2025年度 第3四半期累計 連結実績

- 第3四半期累計の売上高は、前年同期比で16.5%増収の1,747億円。オンワード樫山やオンワードパーソナルスタイル等の冬物衣料の販売が好調に推移。『アンフィーロ』(+41.6%増収)、『カシヤマ』(+29.1%増収)、『チャコット・コスメティクス』(+28.0%増収)等の戦略強化ブランドが好調。『23区』(+4.3%増収)等の基幹ブランドも堅調に推移。
- 営業利益は11.3%増益の95億円。広告宣伝費等の販管費の効率化が奏功し、販管費率を50.0%に抑制。在庫管理の徹底等により、売上総利益率は55.5%を確保。
- 当期純利益は32.1%増益の76億円。事業構造改革等に伴う特別損失が縮小。政策保有株式の縮減等に伴う特別利益の計上も寄与。EBITDAは10.2%増の136億円。

		3Q累計実績			
(百万円)		2025年度	2024年度	増減額	増減率
1	売上高	174,725	149,940	+24,785	+16.5%
2	売上総利益	96,907	83,433	+13,474	+16.1%
	(対売上高比率)	(55.5%)	(55.6%)		(△ 0.1%)
3	販管費	87,378	74,873	+12,505	+16.7%
	(対売上高比率)	(50.0%)	(49.9%)		(+0.1%)
4	営業利益	9,529	8,560	+969	+11.3%
	(対売上高比率)	(5.5%)	(5.7%)		(△ 0.2%)
5	経常利益	9,403	8,456	+947	+11.2%
	(対売上高比率)	(5.4%)	(5.6%)		(△ 0.2%)
6	当期純利益	7,635	5,780	+1,855	+32.1%
	(対売上高比率)	(4.4%)	(3.9%)		(+0.5%)
7	EBITDA [※]	13,590	12,328	+1,262	+10.2%
	(対売上高比率)	(7.8%)	(8.2%)		(△ 0.4%)

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費等

2025年度 第3四半期累計 主要事業会社別実績

			3Q累計実績			
(百万円)			2025年度	2024年度	増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高	86,752	84,687	+2,065	+2.4%
		営業利益	4,962	5,132	△ 170	△ 3.3%
2	ウィゴー	売上高	24,339	5,419	+18,920	+349.1%
	(2024年10月より連結)	営業利益	1,428	222	+1,206	+543.2%
3	オンワード パーソナルスタイル	売上高	5,832	4,525	+1,307	+28.9%
		営業利益	73	△ 90	+163	↗
4	オンワード コーポレートデザイン	売上高	13,077	13,112	△ 35	△ 0.3%
		営業利益	971	1,129	△ 158	△ 14.0%
5	チャコット	売上高	8,466	7,896	+570	+7.2%
		営業利益	1,021	899	+122	+13.6%
6	クリエイティブヨーコ	売上高	4,980	4,876	+104	+2.1%
		営業利益	443	555	△ 112	△ 20.2%
7	大和	売上高	17,741	15,106	+2,635	+17.4%
		営業利益	1,335	1,019	+316	+31.0%
8	国内グループ会社小計 (オンワード樫山+HD除く)	売上高	82,172	59,084	+23,088	+39.1%
		営業利益	5,576	4,476	+1,100	+24.6%
9	ヨーロッパ計	売上高	9,876	9,225	+651	+7.1%
		営業利益	81	13	+68	+523.1%
10	アメリカ計	売上高	1,290	1,468	△ 178	△ 12.1%
		営業利益	△ 109	△ 322	+213	↗
11	アジア計	売上高	4,855	4,715	+140	+3.0%
		営業利益	150	25	+125	+500.0%
12	海外グループ会社小計	売上高	16,021	15,408	+613	+4.0%
		営業利益	122	△ 284	+406	↗
13	連結合計	売上高	174,725	149,940	+24,785	+16.5%
		営業利益	9,529	8,560	+969	+11.3%

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

2025年度 第3四半期累計 販路別売上高

(百万円)		①オンワード樫山				②国内EC対象事業会社8社※				合計 (①+②)			
		2025年度	2024年度	増減額	増減率	2025年度	2024年度	増減額	増減率	2025年度	2024年度	増減額	増減率
1	百貨店	30,336	31,392	△1,056	△ 3.4%	8,731	8,071	+660	+8.2%	39,067	39,463	△396	△ 1.0%
	構成比	35.0%	37.1%		△ 2.1%	13.1%	18.5%		△ 5.4%	25.5%	30.7%		△ 5.3%
2	SC他	31,371	29,545	+1,826	+6.2%	39,745	22,392	+17,353	+77.5%	71,116	51,937	+19,179	+36.9%
	構成比	36.2%	34.9%		+1.3%	59.6%	51.2%		+8.3%	46.3%	40.5%		+5.9%
3	リアル販路計	61,707	60,937	+770	+1.3%	48,476	30,463	+18,013	+59.1%	110,183	91,400	+18,783	+20.6%
	構成比	71.1%	72.0%		△ 0.8%	72.7%	69.7%		+2.9%	71.8%	71.2%		+0.6%
4	自社EC	21,001	21,237	△236	△ 1.1%	13,193	10,359	+2,834	+27.4%	34,194	31,596	+2,598	+8.2%
	構成比	24.2%	25.1%		△ 0.9%	19.8%	23.7%		△ 3.9%	22.3%	24.6%		△ 2.3%
5	自社EC比率	83.9%	89.4%		△ 5.6%	72.4%	78.3%		△ 5.9%	79.0%	85.4%		△ 6.4%
6	他社EC	4,044	2,513	+1,531	+60.9%	5,041	2,871	+2,170	+75.6%	9,085	5,384	+3,701	+68.7%
	構成比	4.7%	3.0%		+1.7%	7.6%	6.6%		+1.0%	5.9%	4.2%		+1.7%
7	EC計	25,045	23,750	+1,295	+5.5%	18,234	13,230	+5,004	+37.8%	43,279	36,980	+6,299	+17.0%
	構成比	28.9%	28.0%		+0.8%	27.3%	30.3%		△ 2.9%	28.2%	28.8%		△ 0.6%
8	売上高計	86,752	84,687	+2,065	+2.4%	66,710	43,693	+23,017	+52.7%	153,462	128,380	+25,082	+19.5%

※Eコマースを運営している以下の国内事業会社8社

ウィゴー、オンワードパーソナルスタイル、アイランド、ティアクラッセ、チャコット、クリエイティブヨーコ、大和、KOKOBUY

23区 (オンワード樫山)

3Q累計増収率 (前年同期比) **+4.3%**

主力アウター・ニットにおいて、商品完成度・投入数量・販促策が合致し、売上拡大。

23区



アンフィロ (オンワード樫山)

3Q累計増収率 (前年同期比) **+41.6%**

新規客へのデジタル戦略が、認知と売上の両軸に寄与。

UNF/LO
アンフィロ



カシヤマ (オンワードパーソナルスタイル)

3Q累計増収率 (前年同期比) **+29.1%**

既存店舗の売上大幅伸長に加え、郊外型ショッピングセンターへの新規出店が奏功。

KASHIYAMA



WEGO (ウィゴー)

3Q累計増収率 (前年同期比) **+6.5%***

※連結前を含む3～11月の単純比較

スウェットや冬物雑貨が好調に推移し、売上を牽引。

WEGO
YOUR FAN



チャコット・コスメティクス (チャコット)

3Q累計増収率 (前年同期比) **+28.0%**

販路拡大と季節限定商品が高稼働し、売上伸長。

Chacott
COSMETICS



大和

3Q累計増収率 (前年同期比) **+17.4%**

法人向けビジネスおよびふるさと納税返礼品事業が好調に推移。

P PRESENTERS ROOM



うるおう、
多幸感。

MOIST SERIES

躍れ、表情。
Chacott
COSMETICS



03

2025年度 通期
連結業績予想

2025年度 通期 連結業績予想

- 通期の売上高は、前期比10.4%増収の2,300億円、営業利益は13.3%増益の115億円、当期純利益は17.4%増益の100億円、EBITDAは10.0%増の170億円を予想。

	(百万円)	通期予想			対2024年度		対公表値	
		2025年度	2024年度	公表値	増減額	増減率	増減額	増減率
1	売上高	230,000	208,393	230,000	+21,607	+10.4%	+0	+0.0%
2	売上総利益	126,000	113,575	126,000	+12,425	+10.9%	+0	+0.0%
	(対売上高比率)	(54.8%)	(54.5%)	(54.8%)		(+0.3%)		(+0.0%)
3	販管費	114,500	103,422	114,500	+11,078	+10.7%	+0	+0.0%
	(対売上高比率)	(49.8%)	(49.6%)	(49.8%)		(+0.2%)		(+0.0%)
4	営業利益	11,500	10,153	11,500	+1,347	+13.3%	+0	+0.0%
	(対売上高比率)	(5.0%)	(4.9%)	(5.0%)		(+0.1%)		(+0.0%)
5	経常利益	11,000	10,084	11,000	+916	+9.1%	+0	+0.0%
	(対売上高比率)	(4.8%)	(4.8%)	(4.8%)		(+0.0%)		(+0.0%)
6	当期純利益	10,000	8,516	10,000	+1,484	+17.4%	+0	+0.0%
	(対売上高比率)	(4.3%)	(4.1%)	(4.3%)		(+0.2%)		(+0.0%)
7	EBITDA [※]	17,000	15,452	17,000	+1,548	+10.0%	+0	+0.0%
	(対売上高比率)	(7.4%)	(7.4%)	(7.4%)		(+0.0%)		(+0.0%)

※ EBITDA = 営業利益+減価償却費等

2025年度 通期 主要事業会社別予想

			3Q累計実績				通期予想			
(百万円)			2025年度	2024年度	増減額	増減率	2025年度	2024年度	増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高	86,752	84,687	+2,065	+2.4%	115,000	113,613	+1,387	+1.2%
		営業利益	4,962	5,132	△ 170	△ 3.3%	7,200	7,190	+10	+0.1%
2	ウィゴー	売上高	24,339	5,419	+18,920	+349.1%	31,300	12,828	+18,472	+144.0%
	(2024年10月より連結)	営業利益	1,428	222	+1,206	+543.2%	1,400	123	+1,277	+1038.2%
3	オンワード	売上高	5,832	4,525	+1,307	+28.9%	7,550	6,215	+1,335	+21.5%
	パーソナルスタイル	営業利益	73	△ 90	+163	↗	140	18	+122	+677.8%
4	オンワード	売上高	13,077	13,112	△ 35	△ 0.3%	18,600	18,452	+148	+0.8%
	コーポレートデザイン	営業利益	971	1,129	△ 158	△ 14.0%	1,750	1,726	+24	+1.4%
5	チャコット	売上高	8,466	7,896	+570	+7.2%	11,000	10,169	+831	+8.2%
		営業利益	1,021	899	+122	+13.6%	860	845	+15	+1.8%
6	クリエイティブヨーコ	売上高	4,980	4,876	+104	+2.1%	7,250	6,798	+452	+6.6%
		営業利益	443	555	△ 112	△ 20.2%	830	821	+9	+1.1%
7	大和	売上高	17,741	15,106	+2,635	+17.4%	23,400	20,832	+2,568	+12.3%
		営業利益	1,335	1,019	+316	+31.0%	1,440	1,234	+206	+16.7%
8	国内グループ会社小計	売上高	82,172	59,084	+23,088	+39.1%	109,880	86,123	+23,757	+27.6%
	(オンワード樫山+HD除く)	営業利益	5,576	4,476	+1,100	+24.6%	6,820	5,431	+1,389	+25.6%
9	ヨーロッパ計	売上高	9,876	9,225	+651	+7.1%	13,500	12,407	+1,093	+8.8%
		営業利益	81	13	+68	+523.1%	300	173	+127	+73.4%
10	アメリカ計	売上高	1,290	1,468	△ 178	△ 12.1%	1,900	2,374	△ 474	△ 20.0%
		営業利益	△ 109	△ 322	+213	↗	△ 60	△ 379	+319	↗
11	アジア計	売上高	4,855	4,715	+140	+3.0%	7,200	7,047	+153	+2.2%
		営業利益	150	25	+125	+500.0%	140	91	+49	+53.8%
12	海外グループ会社小計	売上高	16,021	15,408	+613	+4.0%	22,600	21,828	+772	+3.5%
		営業利益	122	△ 284	+406	↗	380	△ 115	+495	↗
13	連結合計	売上高	174,725	149,940	+24,785	+16.5%	230,000	208,393	+21,607	+10.4%
		営業利益	9,529	8,560	+969	+11.3%	11,500	10,153	+1,347	+13.3%

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

Letter in Time

Gel Me1 '25 AUTUMN & WINTER
NEW COLLECTION



04

「ONWARD VISION 2030」
進捗状況

① オーダースーツブランド『カシヤマ』の成長戦略

ONWARD

(オンワードパーソナルスタイル)



(イオンモール福岡『カシヤマ』)

- 従来の都心部での広域集客型店舗に加えて、**郊外型ショッピングセンター**に『カシヤマ』の出店を加速。
- 20-30万人商圏の「流山おおたかの森S・C」では、地域に合わせたマーケティング効果もあり、**オープン以来予約が好調**。「イオンモール福岡」、「イオンモール広島府中」、「イオンモール岡崎」でも**同様の現象が継続**。
- 都市型店舗は、学生を中心とした20代と、スーツにこだわりを持った50代が中心顧客だったが、郊外型店舗は、**30～40代の働き盛り世代まで顧客属性が拡大**。
- 今後も積極的に多様な商圏での出店を進めていく。

2026年度 オンワードパーソナルスタイル

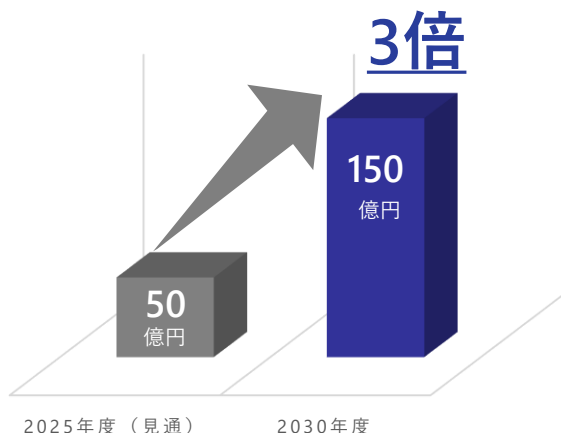
- ・郊外型ショッピングセンター等での『カシヤマ』出店加速
- ・Made in JAPANの生産基盤を活用しながら高価格帯中心の『カシヤマプレミアム』の展開を開始

**2026年度
売上高100億円
突破へ**

② コスメティクス事業戦略

- 当社は、中長期経営計画「ONWARD VISION 2030」において、ギフト・ペット・コスメティクス等、心身ともに豊かで充実した生活実現を支援するため、「生活者の新たな価値観に沿った“ウェルネス領域”の成長加速」を事業戦略のひとつに掲げている。
- その一環として、ジェルネイル等のネイル関連事業を展開する**株式会社コスメ・デ・ボーテ**の全株式を取得し、**完全子会社化**を決定。（2026年3月予定）
- コスメ・デ・ボーテ社の完全子会社化により、当社グループのコスメティクス事業は、メイク・スキンケアの『チャコット・コスメティクス』（チャコット株式会社）、オーガニックヘアケア商品の『プロダクト』（株式会社KOKOBUY）、**ネイルケア**（**株式会社コスメ・デ・ボーテ**）の3ブランドを展開。
- 既存事業とのシナジー効果を追求しつつ、**高い収益率であるコスメティクス事業の総合的な成長を加速**し、総合ライフスタイル企業グループとしての地位を確立していく。

【当社コスメティクス事業売上高拡大イメージ】



ネイルケア

Cosmé de Beauté



「日本中のお客様に気軽に簡単におしゃれを楽しんでいただきたい」というコンセプトの下、セルフネイルの多彩なブランドを展開。

コスメティクス事業領域

メイク・スキンケア

Chacott
COSMETICS



バレエで培ったアセットを活かし、ステージで培った技術と品質を日常へ。より多くの消費者に価値提供を行う。

ヘアケア

product
organic



オーガニック商品を世の中に送り出し、高い品質と価値ある商品を、買いやすい価格で顧客に提供していく。

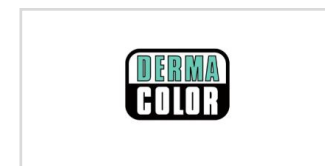
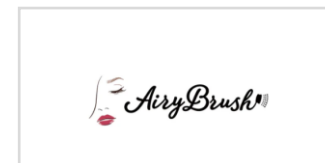
② コスメティクス事業戦略

株式会社 コスメ・デ・ボーテ

【会社概要】

商号：	株式会社 コスメ・デ・ボーテ
設立：	1990年6月1日
事業内容：	化粧品、化粧品雑貨の企画開発 および輸入販売
売上高：	1,764百万円 ※2024年11月期
従業員数：	33名 ※2024年11月時点
主要取扱店舗：	ロフト、プラザ、ハンズ、 アインズ&トルペ、ウエルシア薬局、 スギ薬局、ツルハドラッグ、 サンドラッグ等

【主な取扱ブランド】



② コスメティクス事業戦略

■ コスメ・デ・ボーテ社 業績推移

- コスメ・デ・ボーテ社は、セルフネイル商品等の企画販売をおこない、主なユーザーは20～40代の女性。バラエティストアやドラッグストアなど全国 7,000 店舗以上で販売。
- 主力商品『Gel Me1』は、2025年に発売10周年を迎え、各種メディアの人気ランキング上位に入るなど高い評価を得ている。
- 高いブランド力を背景に、業績は拡大傾向にあり、**営業利益率は25%**と非常に高い水準を維持。
- 今後、市場拡大に加え、既存の販路をベースに、**当社の強みであるECや、海外市場等、新たな販路拡大**の検討を進める。

【 コスメ・デ・ボーテ社 業績推移 】

(単位：百万円)	2022.11	2023.11	2024.11
売上高	1,574	1,685	1,764
営業利益	439	425	453
営業利益率	27.9%	25.2%	25.7%
経常利益	443	429	459
当期純利益	293	355	302

The illustration features a light blue background with white snowflakes and small white dots. Several Sirotan characters, which are white, round, and have small orange and black facial features, are scattered throughout. One character is at the top center, another on the left, and two at the bottom. The title 'しろたん' is written in large, white, stylized Japanese characters.

しろたん

05

Appendix

2025年度 第3四半期累計 連結販管費

					ウィゴー社除く		
(百万円)		2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	増減率	2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	増減率
1	人件費	32,162	28,115	+14.4%	28,018	27,239	+2.9%
2	賃借料	24,094	20,536	+17.3%	19,771	19,521	+1.3%
3	運賃運搬費	5,875	4,889	+20.2%	5,235	4,741	+10.4%
4	広告宣伝費	6,493	5,401	+20.2%	5,632	5,244	+7.4%
5	減価償却費	2,681	2,510	+6.8%	2,446	2,457	△ 0.4%
6	その他	16,073	13,422	+19.8%	14,287	13,017	+9.8%
7	販管費計	87,378	74,873	+16.7%	75,389	72,219	+4.4%

【増減要因】

- 人件費 … 賃金アップ等の人的資本投資強化による増加
- 賃借料 … ショッピングセンター等店舗の売上伸長、新規店舗の出店等による増加
- 運賃運搬費 … EC売上、カタログギフト販売の増加等に伴う配送料の増加
- 広告宣伝費 … プロモーション施策やデジタル広告施策等、積極投資による増加
- その他 … 売上に連動する決済手数料や販売手数料、新規出店に伴う営業用消耗品費等による増加

キャッシュフロー/設備投資/減価償却費

■ キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前利益、および仕入債務の増加等により88億円の収入。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却等により7億円の収入。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の減少および配当金の支払い等の結果、112億円の支出。

■ 設備投資

(百万円)

- 設備投資額は、前年同期から2億円増加の46億円。
- DX関連や出店関連など投資を厳選し、効率的に実施。

2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	増減	増減率
4,611	4,453	+158	+3.5%

■ 減価償却費

(百万円)

- 減価償却費は、前年同期から2億円増加の33億円。

2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	増減	増減率
3,265	3,111	+154	+5.0%

2025年度 第3四半期累計 当期純利益影響項目

(百万円)		2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	増減率
1	営業利益	9,529	8,560	+11.3%
2	営業外収益	505	479	+5.4%
3	受取利息・配当金	171	233	△ 26.6%
4	為替差益	1	-	-
5	持分法による投資利益	57	149	△ 61.7%
6	その他	274	96	+185.4%
7	営業外費用	631	583	+8.2%
8	支払利息	384	274	+40.1%
9	為替差損	-	70	-
10	その他	246	238	+3.4%
11	営業外損益計	△126	△104	-
12	経常利益	9,403	8,456	+11.2%
13	特別利益	1,967	1,771	+11.1%
14	投資有価証券売却益	1,708	865	+97.5%
15	固定資産売却益	258	906	△ 71.5%
16	特別損失	1,316	2,961	△ 55.6%
17	減損損失	1,289	363	+255.1%
18	関係会社整理損	-	1,454	-
19	段階取得に係る差損	-	1,088	-
20	その他	26	55	△ 52.7%
21	特別損益	651	△1,190	-
22	税前利益	10,054	7,266	+38.4%
23	法人税等	2,418	1,423	+69.9%
24	少数株主損益	-	61	-
25	当期純利益	7,635	5,780	+32.1%

【当期純利益影響項目】

- 営業外収益は、ウィゴーが持分法対象企業ではなくなったことによる「持分法による投資利益」の減少、「その他」の増加により26百万円の増加。
- 営業外費用は、金利上昇に伴う支払利息の増加等により、48百万円の増加。
- 以上の結果、経常利益は、前年同期比+11.2%増の94億円となった。
- 特別損益は、不動産等にかかる減損損失が増加したものの、前年度に計上したイタリアの清算損失、ウィゴー社株式の段階取得に係る差損などの一過性の損失がなくなったことなどにより、前年同期から約18億円の改善。
- 以上の結果、当期純利益は前年同期比32.1%増の76億円となった。

2025年度 第3四半期累計 連結貸借対照表

	(億円)	2025年度3Q末	2024年度末	前期末比±
1	資産合計	1,893	1,792	+101
2	流動資産	929	801	+128
3	現金及び預金	119	135	△ 16
4	売掛金	229	159	+70
5	棚卸資産	527	458	+69
6	固定資産	964	991	△ 27
7	有形固定資産	480	476	+4
8	無形固定資産	119	128	△ 9
9	投資その他の資産	365	385	△ 20
10	負債合計	1,033	949	+84
11	買掛金	288	197	+91
12	借入金	436	485	△ 49
13	その他	309	267	+42
14	純資産合計	860	842	+18
15	自己資本比率	45.4%	47.0%	△ 1.6%
16	流動比率	122.3%	127.7%	△ 5.4%

■ 棚卸資産

冬物商材の仕入など季節的要因による増加。

■ 買掛金

仕入の季節的要因と、決算期末日が休日だったことによる一時的な増加。

■ 借入金

返済による減少。

■ 自己資本比率

自己資本比率45.4%。前年度末より1.6%減少。

Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は
一切責任を負いませんのでご承知おきください。